



は さ みちょう
波佐見町立南小学校

～ 食育の基本は、自分で食事が作れることから ～

【受賞者の概要】

波佐見町立南小学校

- ・所在地: 東彼杵郡波佐見町長野郷228番地
- ・創立時期: 明治7年
- ・全校児童数: 280名



【受賞時の活動・現在の活動】

各学年に応じた積極的な食育活動を進め、低学年では「おやこで作るおむすびの日」、高学年では「自分で作るお弁当の日」を設け、「食べ物に感謝する心、食材を知る心」の教育から調理体験へとつなげる活動を実践。また、生活習慣病と食改善の探究や郷土料理研究、ゲストティーチャーを迎えた食育講演会などの取組が評価され、平成24年度食育推進活動表彰を受賞しました。

現在は、受賞時の活動は、6学年の総合学習の時間に生活習慣病をテーマとして実践しています。この他、朝食調査や親子料理教室などの食育活動を行っています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

本校での実践においての一番の成果は、食への関心を高めるきっかけになったことです。様々な活動を通して関心を持つことで、毎日の習慣が少しずつ変わり、心身の健全な成長へとつながっているように感じます。また、「食は習慣」であり、まずは、子供の周りの大人が、食への関心を高めていくことが食育推進の大きな要因であると思います。

【今後の展望(これからの夢)】

今後も、一日三回の食事に少しずつでも自分が関わることを大切にしていきたいと考えています。具体的には、食事づくりへの参加や手伝いの実践、また、食材について話題にしながらいただくことなどを習慣化することを目指したいと思います。さらには、学校の特性を生かし、作物の栽培を「食」との関連を深めた活動へと充実させていきたいです。

平成24年度
受賞

公益財団法人 長崎県学校給食会

～ 学校教育現場での食育の取組を支える ～

【受賞者の概要】

公益財団法人 長崎県学校給食会

- ・所在地: 諫早市多良見町市布1708-1
- ・創立時期: 昭和33年
- ・会員数: 42名



【受賞時の活動・現在の活動】

学校教育における食育を支えるため、安全・安心な食材の提供、教育資材の開発などを実施。

長崎県産品を取り入れた学校給食に役立つ食材を開発し、ホームページ等で紹介することで学校給食への普及を推進し、児童・生徒が長崎の食文化に直接接する機会を提供しています。

また、給食会が開発し普及した米粉パンは、原料の米の生育過程を田植えの段階から取材し、DVDを制作し、「生きた教材」として県産品による食育を推進。米粉パン以外にも県産牛乳、五島手延べうどん、対馬しいたけ、さば、乾燥わかめなど県産14品目に及ぶ教材も開発しています。

また、県内の栄養教諭と連携し、学校給食の献立集や指導案集などの資料も作成し教育現場に貢献しています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

食育充実の一つとして、学校と地域が総合的に連携し、食材を「つなげる」ことが求められています。食育の中核となる栄養教諭等に対し積極的な情報提供や、児童生徒に対して県産品愛用等の普及啓発を行うことは、学校・家庭・地域における人と食材の「つながり」に対する理解を深め、さらには郷土愛の精神を育む活動の一助として役立っています。

【今後の展望(これからの夢)】

変化し続ける昨今の食環境に対応するため、子供達が自ら選択できる力を養うための教材開発や、栄養教諭等の教職員に対し食育活動に役立つ資料等の教材研究を行いたいと思います。また、学校・地域を「つなげる」ために積極的な啓発を行い、食育をより身近で現実的なものにするための普及活動を行っていきます。



ひがしそのぎちよう ちわた
東彼杵町立千綿小学校

～ 発達段階に応じた食育活動と効果の分析 ～

【受賞者の概要】

東彼杵町立千綿小学校

- ・所在地：東彼杵郡東彼杵町平似田郷740
- ・創立時期：明治4年
- ・全校児童数：130名



【受賞時の活動・現在の活動】

平成24年度に保護者や地域住民参加の「親子ふれあい食育フェスタ」を開催、また保護者や地域住民の協力によるお茶や米づくりなどの体験を重視した「学年別食育プログラム」を導入した食育活動が評価され、平成25年度食育推進活動表彰を受賞しました。

平成27年度には地域の関係団体や保護者の協力を仰ぎながら、各学年別に指導目標を立て、その達成に向けての活動とともに毎年食育フェスタ(PTA主催)を開催し、活動の振り返りや他学年への紹介も実施している取組が評価され、2度目の食育推進活動表彰を受賞しました。

現在は、地域の方から郷土料理の作り方を指導していただきながら低中高学年別の親子クッキング教室を開催しています。調理後は、全員で食したりしながら、楽しく充実した活動を行っています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

取組により、朝食抜きの児童がいなくなるなどの効果をもたらすとともに活動を通して、勤労・生産活動の大切さやふるさと産業への理解が深まり、親子のふれあいにもつながりました。

また、食事の喜びや楽しさを体感し、より食育に対する認識が深まりました。

【今後の展望(これからの夢)】

これまでの学習を通して、心身の健全な成長には、「食事」が重要であることを学ぶことができました。しかし、児童の実態として、偏食や食物アレルギー等の様々な問題点もあります。子どもたち自身が正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性について自ら判断でき、食べ物を大切に、生産に関わる人々や食べ物の命に感謝する心を育んでもらいたいと思います。そのためにも、今後も食育活動の充実を図ってまいります。